

議会だより

発行 斑鳩町議会
斑鳩町法隆寺西3丁目7番12号
電話 0745-74-1001
FAX 0745-74-1011
電子メール:gikai@town.ikaruga.nara.jp
発行人 議会議長 中西 和夫
編集 広報発行常任委員会

平成27年(2015年)8月1日



▲改装なった町民プール

5月臨時会・6月定例会

13名の議員紹介	②ページ
こんなことが決まりました	④ページ
8人の議員が一般質問を行いました	⑥ページ
委員会のうごき	⑫ページ
住民懇談会を開催しました	⑮ページ

13名で新たなスタート!

—議員の紹介—

去る4月26日に斑鳩町議会議員選挙が執行され、13名の議員が選出されました。今後、この13名で頑張ってもらいますので、皆さまのご支援をお願いします。各議員の所属委員会等は、16ページ(裏表紙)に掲載しています。



小村 尚己
神南4丁目

皆様から頂いた期待を裏切らないように精進いたします。未来の子供たちにツケを残さないように尽力いたします。必要な分野には投資を促す。我慢して頂く分野は、住民に批判を浴びてもお願いをする。納税者の代議員として、仕事をしっかりと全うしてまいります。



宮崎 和彦
興留3丁目

都市基盤整備の遅れが、町の成長の遅れと考え、生活道路・通勤・通学路の整備を進め、歩道の設置・防犯灯・防犯カメラ設置など安全・安心な町になるように、また道路整備により、観光など多くの人が、この斑鳩に来ていただくことが商業の経済効果に繋がると考えており、全力で進めてまいります。



伴 吉晴
稲葉西2丁目

社会の仕組みや人の価値観が劇的に変わる時代では、従来の発想とは全く違った非連続な新しい価値を生み出す作業が求められていると認識しております。新しい時代の変化を敏感に感じ取って、時代に合わなくなってしまうことは勇気をもって対応していく、大好きな斑鳩のために一層の努力をしたいと思っております。



小林 誠
興留4丁目

初心を忘れず挑戦。あなたの声が政治に、行政に届く実感を感じていただけるように地域で住民集会を開催して参ります。その時は必ず財政の話から。「道徳なき経済は犯罪であり、経済なき道徳は寝言である」(二宮尊徳)。未来に対する責任を果たしてまいります。



平川 理恵
法隆寺西3丁目

初めて当選させて頂きました。女性として、子育て世代の一人として、教育や子育て支援、福祉の充実など、生活に根差した活動に取り組みます。世界遺産・法隆寺のお膝元にふさわしい魅力ある町づくりを目指します。「初心 忘るべからず」。新人議員として一生懸命に勉強し、お役にたてるように頑張ります。



中川 靖広
龍田3丁目

5期目を就任させて頂きました。ご支援を賜り、心から感謝申し上げます。4期目の抱負でお約束をいたしました、議員定数削減を住民の皆様方に実感していただける施策といたしまして、自治会で負担していた防犯灯の電気料金を町で支払っていただく事ができました、今後も初心を忘れず頑張ります。



嶋田 善行
興留9丁目

一期目は無我夢中、二期目は腰を落着けて、三期目は議員定数削減と町民皆さんの想いを議会にあげる「橋渡し」を行ってまいりました。今期4年間も、「橋渡し」役として、行政におもねる事なく、町民皆さん一人ひとりの町への「想い」「願い」を提言し続けてまいります。



濱 眞理子
龍田西2丁目

住民のみなさんの願いを実現するため、力いっぱい働かせていただきます。新人議員として、常に勉強を怠らず、何事にもまっすぐに取り組んでまいります。福祉の充実や子育て、教育、文化は平和が守られてこそ続けられ発展させることができます。命と暮らしを大切にすることを第一に頑張ります。



井上 卓也
神南5丁目

この度は多くのご支援を賜り心より深く感謝しております。一期目新人議員として一生懸命勉強し、町民の皆様方が「安全で安心」して暮らせる町を目指し、皆様方と共に情報を共有しながら、町政に反映していけるよう精一杯頑張っておりますので、今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。



木澤 正男
興留5丁目

みなさまのご支援で議会へ送っていただき4期目となりました。引き続き、住民のみなさまの暮らし・福祉を守るため尽力致します。これまでの経験を活かし行政のチェック機能としての役割を果たすとともに、「斑鳩町をどんな町にしたのか」自分なりのビジョンを持って政策提案等を行ってまいります。



中西 和夫
法隆寺北1丁目

これまで住民皆様と築いてきた「絆」を大切に、福祉の充実や環境保全、農業の基盤整備などに努めてまいります。また、高齢者や子どもたちを地域で見守り、支援しながら、安全に安心して、生き生きと暮らすことのできるまちづくりに向けて、5期目も全力を尽くしてまいります。



奥村 容子
龍田西5丁目

町民の皆様温かい御支援を賜りました事を、心から感謝申し上げます。住民の皆様のお声に誠実に耳を傾け、御要望を実現するために、全力で頑張っております。子供達から高齢者の皆様まで、おひとり、おひとりが、輝いて生きていけるやさしい町づくりを目指し努力を惜しまずお応えして参ります。



坂口 徹
龍田西6丁目

みなさま方のご支援をいただき、引き続き議会へ送っていただきまし。これまでの2期8年の経験を生かし、住民みなさまの声を町行政へ届けるためのパイプ役としてがんばって参ります。これからも、安全・安心・共に生きる元気な斑鳩をつくるため、一層、努力いたします。



5月臨時会 6月定例会では こんなことが 決まりました

平成27年第2回臨時会が5月11日に開かれ、議員の役員選出のほか、下記の事項について審議しました。

また、平成27年第3回定例会が6月1日から6月17日までの17日間の会期で開かれ、斑鳩町スポーツ施設条例の一部を改正する条例についてなど11議案を可決・承認等し、報告案件7件について報告を受けました。

最終日には選挙1件、意見書2件と議会規則の改正を上程しました。

それぞれの結果は、下記のとおりです。

5月臨時会の案件		結果
条例	町長専決処分について承認を求めることについて(斑鳩町町税条例等の一部を改正する条例について)	満場一致で承認
	町長専決処分について承認を求めることについて(斑鳩町都市計画税条例の一部を改正する条例について)	
	町長専決処分について承認を求めることについて(斑鳩町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について)	
人事	斑鳩町監査委員の選任について同意を求めることについて	満場一致で同意

議会選出の監査委員として、中川靖広議員を選任することに同意

6月定例会の案件		結果
条例	斑鳩町スポーツ施設条例の一部を改正する条例について	満場一致で可決
	斑鳩町介護保険条例の一部を改正する条例について	
予算	平成27年度斑鳩町一般会計補正予算(第1号)について	満場一致で可決
	平成27年度斑鳩町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)について	
	町長専決処分について承認を求めることについて(平成27年度斑鳩町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)について)	満場一致で承認
契約	平成27年度史跡中宮寺跡整備工事請負契約の締結について	満場一致で可決
	平成27年度斑鳩町公共下水道管渠築造工事請負契約の締結について(その1)	
	平成27年度斑鳩町公共下水道管渠築造工事請負契約の締結について(その2)	
選挙	斑鳩町選挙管理委員会の委員及び同補充員の選挙について	当 選
	奈良県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について	報 告
認定	町道認定について	満場一致で認定
推薦	斑鳩町農業委員会委員の推薦について	満場一致で推薦
報告	平成26年度斑鳩町継続費繰越計算書の報告について(一般会計)	報 告
	平成26年度斑鳩町繰越明許費繰越計算書の報告について(一般会計)	
	平成26年度斑鳩町繰越明許費繰越計算書の報告について(国民健康保険事業特別会計)	
	平成26年度斑鳩町繰越明許費繰越計算書の報告について(公共下水道事業特別会計)	
	平成26年度斑鳩町繰越明許費繰越計算書の報告について(介護保険事業特別会計)	
	平成26年度斑鳩町繰越明許費繰越計算書の報告について(後期高齢者医療特別会計)	
	平成26年度斑鳩町文化振興財団事業報告について	
意見書	日本を「海外で戦争する国」にする「戦争法案」を廃案にすることを求める意見書について	賛成少数で否決
	年金削減の中止を求める意見書について	
発議	斑鳩町議会会議規則の一部を改正する規則について	満場一致で可決

選挙管理委員会委員に扇純子氏、浅部京子氏、吉田憲子氏、宮崎大地氏が、同補充員に今邨鐵雄氏、松下靖氏、浅井真氏、鈴木さよ氏が当選

議会選出の委員として、中川靖広議員、坂口徹議員を推薦

?用語解説?
継続費
 事業を執行するのに数年度かかるものについて、その経費の総額と年割額を定めて数年度にわたって支出する経費。
繰越明許費
 年度内に支出が終わらない理由があるものについて、予算を翌年度に繰り越して使うことができる経費。

5ページに賛否の討論

議会の議案書を閲覧できます

議会に上程された議案書は、役場3階の議会事務局で閲覧することができます。それぞれの議案について詳しく知りたい場合は、役場3階の議会事務局までお越しください。

議会事務局(☎74-1001 内線302)

本会議での 討論

議案に対して賛否が分かれた場合、議員が自己の賛否の意見を表明し、その理由を述べる「討論」を行います。
6月定例会では、2件の討論が行われました。

日本を「海外で戦争する国」にする「戦争法案」を廃案することを求める意見書

【反対意見】 坂口議員

今国会に提出されている安全保障関連法案は、この法案を審議する衆議院の特別委員会におきまして、先月下旬から、実質審議がなされているところであります。

この法案は、国民を守るための切れ目のない安全保障法制の整備であることから、この特別委員会で、丁寧な説明と慎重審議がなされ、十分時間をかけて議論なされていくものと認識しております。

したがって、現時点において、この意見書を提出することについては反対するものであります。

【賛成意見】 木澤議員

安倍内閣が国会に提出した「平和安全法制」は、これまでの歯止めをなくして自衛隊が「戦闘地域」まで行き米軍や多国籍軍などの支援を行うことができるようになるものです。

戦後、日本政府の見解は、一貫して、「海外での武力行使は許されない」ことを土台として構築されてきました。しかし、この「戦争法案」は、集団的自衛権の行使を容認し、日本に対する武力攻撃がなくても、他国のために武力行使できるようにするものであり、憲法9条に反する違憲立法です。一内閣の専断で、従来の憲法解釈を百八十度転換する立憲主義の破壊であり、憲法9条の破壊にほかなりません。衆議院憲法審査会では、3人の憲法学者全員が「戦争法案」は「憲法に反する」との意見表明を行っており、法案を廃案にするよう政府に強く求めていくべきだと考えます。

年金削減の中止を求める意見書

【反対意見】 伴議員

年金の削減を中止することとありますが、法律で想定されている金額以上の支給金額は累計 7 兆円に達しており、高い水準のまま年金支給を続けることは、将来の年金受給者すなわち現役世代の将来の年金額の確保にも影響を及ぼすため、年金額を本来の水準に戻すことで、年金財政の改善を図るとともに、世代間の公平を図るために実施されていることを考えれば、やむを得ない処置と言わざるをえません。

また「最低保障年金制度」の内容が不明なので、賛否の判断が困難であると考えられます。それに、「国庫負担の金額」の規模も明らかになっておらず、仮に現行の支給額の2分の1以上の公費投入であれば、財源確保の議論を要するものであり、簡単に賛否を問えるものではないと考えますことから、意見書(案)の内容には反対の意見とさせていただきます。

【賛成意見】 濱議員

厚生労働省は、昨年の全国消費者物価指数の+2.7%という発表を受けて、2015年度年金を0.9%増額改定すると発表しました。しかし、物価の上昇に年金が追いついていません。実質的な年金引き下げとなります。

これは、マクロ経済スライドの初めての運用によるものです。このマクロ経済スライドを使って、今後30年間にわたって年金の引き下げを見込んでいます。これは、貧困化が深刻な年金生活者への大きな打撃となります。

高齢者、年金生活者が急増する中、年金引き下げは切実な問題です。年金の引き下げは、人間の尊厳、幸福追求権を定めた憲法第13条、健康で文化的な最低限の生活を保障する憲法第25条に違反するものです。

国民の生存権を守る全額国庫負担の「最低保障年金」も欠かせません。

高齢者や年金受給者の切実な願いをご理解ください。

一般質問 Q &A

本定例会での一般質問は、6月4日・5日の両日、8人の議員が行いました。質問と答弁の内容を要約し、お知らせします。

2日間で、延べ37人の方が傍聴に来られました。

認知症の予防対策について



濱 眞 理 子 議員

議員 高齢者にとって認知の問題は、大きな不安です。しかしその認識は、ご本人、家族共に漠然としており、予防のために何かを始めるに至っていない方もおられます。

認知症の正しい理解を深めるための啓発及び早期発見の取り組みは、どのように実施されていますか。

住民生活部長 「認知症予防講演会」や「認知症サポーター養成講座」の開催、また、認知症予防のためのパンフレットの作成や「出前講座」等をおして、認知症に関する知識の普及を行っております。新たな認知症施策で、今後作成していく、認知症のケアの流れを示す「認知症ケアパス」の中でも正しい知識の普及・啓発に積極的に取り組んでまい

ます。

議員 介護認定を受けておられない方への取り組みはどうですか。認知症の早期発見のためのチェックリストはどのような取り組みですか。

住民生活部長 チェックリストを満65歳以上の方に送付し、返送していただきました。(返送率6割弱、その25%『904人』に問題あり。904人のうち413人が認知のリスクが高い。)運動教室に81人と栄養教室に25人参加されました。

このような教室では認知についても触れております。

あとは認知予防の講演会等への参加の声かけをしました。返送のなかった方は次年度に再送付しており、返送で問題のなかった方は3年後に

再送付いたします。

議員 チェックリストの3年ごとの再調査では、その間に発症や急な進行があった場合、発見が遅くなります。早期発見の取り組みの充実を求めます。

住民生活部長 チェックリストの実施方法等についてももう少しきめ細かくするような形で検討してまいります。

議員 認知予防の施策(運動・読み・書き・計算)の介護保険外実施を要望します。



その他の質問

※野外活動施設の設置を
※町内事業所・勤労者の就業実態について

1日も早い実現を



宮 崎 和 彦 議員

議員 三代川と町道について。河川堤防の擁壁・舗装面の老朽化・片勾配の道路など安全上の問題があり、管理者として町の認識を問う。

都市建設部長 擁壁等の損傷に関しては、県が対応して、昨年現場確認を行い、対処すべき所について修繕工事も行っており、今後も緊急を要する箇所がある場合、県とも協議しながら管理に努めます。次に、一部道路横断が片勾配となっている部分は、河川

の占用協議の中で河川断面を確保する必要があり、現時点で河川堤防高の変更は難しいものと認識しております。三代川改修は県により進めており、町は抜本的な河川改修を進めていくことが道路の安全性につながるかと考えており、引き続き県に要望してまいります。

議員 国が予定している遊水地の利用について問う。

都市建設部長 用地の確保の方法について、土地を買収する方法と借地として構築する2つの方法があり、買収する場合には、地盤高にもよりますが、一部土地を有効に利用できます。借地の場合は、地権者が平常時営農などされま

す。現在意見等を伺いながら具体的な規模等を決め、有効利用につきましては、用地買収となる場合は活用方法等について国や県とも協議してまいります。

議員 買収の場合には、住民の意見も取り入れて、グラウンドゴルフ・スポーツ施設・公園等ができるよう要望してまいります。

空風呂を再興することが新

たな観光資源として活用できると考えるが、町としての考えを問う。



▶約65年前の空風呂

出典
岩波書店編集部編 岩波映画製作所撮影
岩波写真文庫(復刻ワイド版)73
いかるがの里1950-1
岩波書店、1988刊

都市建設部長 法隆寺西大門

の北側にあり、土地の所有者は法隆寺、建物は地元の有志で建てられ、現在老朽化しており閉鎖されており、民間の施設でもあり、詳しいことを把握していないのが現状であり、町が主体となって運営することは現状ではできません。

議員 観光の拠点となる道の駅や防災センターを兼ねる建物から健康のために歩き世界遺産など見ていただき空風呂に入って帰る泊まる、ぜひとも将来考えていただきたい。

国道168号線河敷橋 交差点に早期に 信号機設置を!



平川理恵 議員

議員 国道168号線河敷橋交差点で今年1月、下校中の小学生が車にはねられる事故があった。この交差点にはこれまで、信号機の設置が求められていたが、設置する条件として、町が河敷橋の拡幅を進めることが必要とされてきた。条件整備に向けた町の取り組みはどうか。



▲河敷橋交差点

都市建設部長 この交差点の横断の危険性は認識しており、所轄署や県公安委員会に対して毎年信号機の設置を要望してきたが、現時点において設置に至っていない。今年1月の事故を受けて、3月に県警本部と西和警察署、奈良県郡山土木事務所、町の3者で現場立ち合いを行い、通学路の安全確保に向けて協議を行った。注意喚起の表示や横断者の待機場所の確保、まずはそれぞれができることから対応していくことになった。現実には事故が発生していることもあり、警察としても将来的には信号機の設置を検討していくとのことだが、設置には条件整備等に相当、時間を見込めることが見込まれる。今後も関係機関と協議を重ね、

早期に実施できるように努めてまいりたい。

議員 検討するとは、前向きに検討と理解してよいか。

都市建設部長 条件整備に相当時間がかかることが見込まれる。当然、前向きではあるが、ハードルもいろいろある。

町立図書館の祝日開館 について

議員 町立図書館を祝日に開館してもらえないか。県内の公立図書館の状況はどうか。

教育長 県内の公立図書館35館のうち、7割にあたる23館が祝日も開館し、全国的な傾向と認識している。人員等、勤務態勢の課題があるので全ての祝日を閉館することは難しい。日曜と祝日が重なる日は多くの利用者が見込まれる。図書館協議会と十分協議を重ねながら検討していく必要があると考える。

その他の質問

※地方人口ビジョン及び地方版総合戦略策定について
※貸農園について

万代の改装工事に伴う 休業期間中の買い物支援!



小林 誠 議員

な影響があることから、仮設店舗をお願いする。

また、仮設店舗の設置が無理な場合は、社協の「生き生き号」の運行を工夫することや、周辺の小地域福祉会などに対して地域の高齢者等への支援をお願いできないか、是非も含めて検討してまいります。

議員 まだ休業することを知らない住民も多数おられるので、行政が持っている様々なネットワークを使い、各種団体に周知していただき、買い物不自由になれる方一人でも減らす努力をお願いします。

次に、高齢者の方への買物支援について。自助や互助による自発的な取り組みを生み出していく必要性。つまり、ボランティア団体や自治会、老人会のように互助の中で支援を提供する施策を検討する必要性について、町はどのように認識しているのか伺う。

住民生活部長 これからも高齢者が住み慣れた家庭・地域でいつまでも安心して暮らし続けるためには必要であり、NPOやボランティア団体などの多

様な組織によるサービスを提供できるようにすることは、まちづくりにとっても非常に大切なものと考えています。

高齢者個々のニーズと生活実態に合わせたサービスを提供するためには、ボランティア団体等の担い手の養成・発掘等の地域資源の開発が必要であり、自治会等のような互助の中で支援を提供できる地域団体のネットワーク化など、住民と行政が協働で取り組むなかで対応していきたいと考えています。



小学校のトイレについて



伴 吉 晴 議員

議員 小学校の洋式トイレが少なく、洋式のトイレしか使えない児童が増えて、休憩時間内に使うことができずに困っている子どもがいると聞いたが、町立小学校のトイレにおける洋式便器の設置状況について伺う。

教育長 小学校3校において児童が使用するトイレは基本的に各教室棟の各階ごとに男子用、女子用それぞれ1箇所ずつ設置しております。その各トイレごとの大便器のうち1箇所以上は洋式便器を設置しております。その箇所数としては、斑鳩小学校で6箇所、斑鳩西小学校で7箇所、斑鳩東小学校で6箇所となっております。

議員 それでは、児童が洋式

トイレに集中して、休憩時間内にトイレを済ませられない状況はないのかを伺う。

教育長 各小学校に確認したところ、休憩時間中にトイレに児童が集中することで、休憩時間内に使うことができない状況はないと聞いております。

なお、新入学児童の中には和式の便器を使ったことがない児童もおりますことから、各小学校では、入学時に和式便器の使い方について、教員が見本を示すなどの方法により、指導を行っているところでもあります。

議員 今の回答は児童の父兄に聞いている話とズレがあるのですが、洋式トイレの混雑により困っている児童がないとしても、各家庭において便

器の洋式化が進んでいることから、学校においても便器を洋式化していく必要があると思うのだが、町の見解を伺う。
教育長 本町におきましては、生活スタイルに応じた過ごしやすい学校生活を送ることができると環境整備を進めていく必要があると考えております。また、既存の和式便器を洋式便器に改修していくことについては、今後、国の補助金の活用等も視野に入れて検討してまいりたいと考えております。



その他の質問

※図書館の本の返却BOXを増設できるかについて

入所希望が増えている学童保育の受け入れ体制の充実を



木澤正男 議員

議員 新年度から学童保育の入所希望が予想を超えて増えていると聞きますが、現在の状況はどうなっていますか？
住民生活部長 平成27年度は、夏休みからの入室希望も加えると6月1日現在では、斑鳩学童保育室で159名、斑鳩東学童保育室で111名、斑鳩西学童保育室で78名です。各学童の入室可能な児童の数は、斑鳩学童保育室で160名、斑鳩東学童保育室で118名、斑鳩西学童保育

室で78名となります。

現時点では、待機児童は出ていない状況ですが、西学童保育室あるいは斑鳩学童保育室については、これ以上の受け入れは難しいという状況になっていきます。

議員 住民の方からは、入れるかどうか聞いたら、「入れない」と言われたという声を何人かの方からお聞きをしていますので、申し込みはされていない方でも入所希望をお持ちの方がおられると考ええます。また、保育所への入所児童が増えており、今後、更に学童保育の需要が高まると考えますが、町は今後の対応をどのように考えていますか。

住民生活部長 今後の対応としては、民間サービスの活用あるいは教育部門との連携など先進地の事例も含めて、平成27年度にさまざまな角度から調査研究を行い対応していきたいと考えています。

介護認定者への「障害者控除対象者認定」制度の周知を

議員 65歳以上の高齢者で要介護認定者の方は、障害の程

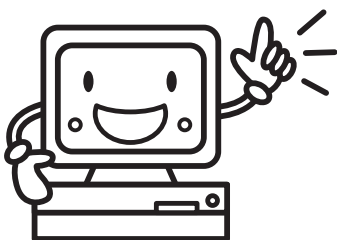
度によって税金の控除が受けられ、納税者自身、または配偶者や扶養親族が所得税、住民税の控除が受けられるので、周知の徹底をお願いします。
住民生活部長 今後、町ホームページや町広報で周知するとともに、ケアマネージャーなど直接、要介護者、要支援者にかかわる方への周知や、介護認定の通知書に案内を同封する方法について、検討し、制度の周知に努めてまいりたいと考えます。

その他の質問

※「戦争法案」について
※教科書採択について



議会だよりが斑鳩町ホームページで閲覧できます。



斑鳩町ホームページ (<http://www.town.ikaruga.nara.jp>)で、町議会をクリックしてください。

NO.52 (平成19年5月1日発行) からのバックナンバーも閲覧できます。

国道25号 歩道整備の 今後について



坂口 徹 議員

議員 国道25号の歩道整備について、今後の見通しについてお聞きします。



▶整備途中の歩道

都市建設部長 竜田大橋西詰めから三室北交差点までの区間において、下水道工事が予定されており、この工事の進捗に合わせて整備が実施されるものと聞いています。また、

登録の際には、安全に活動いただけるよう、誘導などに使う安全旗や危険を知らせる笛、被視認性を高める安全ベストを配布し、合わせて活動についての留意事項を説明しています。

議員 学校安全ボランティアの方がより効果的な活動ができるよう、交通事故や犯罪者から身を守るための講習会や研修会を開催されてはどうか。

教育長 学校安全ボランティアは、登下校時の児童の見守りや声かけ、通学路での誘導や引率など、子どもたちの安全安心のため自発的に活動いただいております。活動時における自身の安全を守ることや、児童への声かけや誘導をより効果的に行えるよう、講習会や研修会を行うことは、大変意義のあることと考えています。教育委員会としても、活動される方が安心して活動できるように、また、いざというとき迅速かつ適切な対応をとっていただけるよう、研修会の開催等も含めて、さまざまな機会を通じて支援策を検討していきたいと考えています。

学校安全ボランティア について

議員 学校安全ボランティアについて、より効果的な活動となるよう支援が必要と考えますが、まず、現状についてお聞きします。

教育長 平成16年、奈良市の小1児童殺害事件をきっかけに、平成17年度から「自分たちの地域は自分たちで守る」という強い意志のもと活動いただいております。現在71名の方に登録いただいております。この

議会の日程

閉会中の委員会

8月18日(火) 建設水道常任委員会

19日(水) 厚生常任委員会

21日(金) 総務常任委員会

26日(水) 議会運営委員会

平成27年第4回定例会

9月1日(火) 本会議初日

(委員長報告、提案説明、議案上程)

広報発行常任委員会

4日(金) 一般質問

7日(月) 一般質問

8日(火) 決算審査特別委員会

9日(水) 決算審査特別委員会

10日(木) 決算審査特別委員会

11日(金) 建設水道常任委員会

14日(月) 厚生常任委員会

15日(火) 総務常任委員会

16日(水) 議会運営委員会

24日(木) 本会議最終日(委員長報告、討論、表決)

議場は、役場3階です。
すべて傍聴できます。

開会時間は、午前9時を予定しています。

(広報発行常任委員会は本会議終了後)

日程・時間は、一部変更になる場合があります。詳しくは議会事務局にお問い合わせください。

議会事務局 TEL 74・1001 内線 302

学校給食における食物アレルギーの対応について



奥村 容子 議員

議員 食物アレルギーで悩む児童生徒は、年々増加の傾向にあると言われています。未来を担う子供達の生命を、どのように守っていくのか。食物アレルギーを有する児童生徒への対応について、学校現場での取り組みについて伺います。

教育長 本町のすべての小学校・幼稚園では、入学入園時に全児童生徒を対象に、保護者に「健康調査票」を記入していただき、アレルギー疾患の有無や症状について保護者と個別に面談をし、家庭訪問の際にも聞き取りをし、常日頃から適切に把握しています。また、調理の段階では、食材の成分表を十分に確認し、アレルギーとなる食材の除去を行っています。アナフィラ

キシの対処法やエピペンの使用方法等についても、全教職員による研修会を行っています。

議員 医療機関、消防機関への連携につきまして円滑に進みます様、お願いします。未来を担う子供達の大切な生命を守る為、事故ゼロを目指し、徹底した研修に取り組んで頂きます様お願いします。



▲小学校の給食

「生活困窮者自立支援制度」の実施について

議員 本年4月から施行された生活困窮者支援法は、生活保護の手前にもう1つのセーフティネットを張ろうとするものです。仕事や、健康面などで深刻な問題を抱えた人を生活保護に至る前に支え、新たな人生への挑戦を後押しする画期的な法律です。本町において実施の方向性と実態把握について伺います。

住民生活部長 実施主体は、都道府県、市及び福祉事務所を設置する町村の為、斑鳩町においては奈良県が実施主体となります。町として広報やホームページを活用し活動内容の周知を図り、民生委員、ケアマネージャー等の関係者と連携し、生活困窮者の早期発見と支援を行って参ります。

議員 生活困窮者は、社会的に孤立しているケースが少なくありません。皆が支え合う、あたたかい地域づくり町づくりの為、これからも積極的な推進を要望致します。

議会は役場3階です

議会を傍聴してみませんか！

斑鳩町議会では、「開かれた議会」をめざしています。みなさんの選んだ議員が、議場や委員会でのどのような発言をし、行政はどう答えているのか、みなさんご自身でお確かめください。

また、本会議の会議録は庁舎ロビーや公民館、斑鳩町立図書館でも閲覧できます。

みなさんのご意見やご要望をお寄せください。

(宛先) 〒636-0198 斑鳩町法隆寺西3-7-12

斑鳩町議会事務局

TEL 74-1001 FAX 74-1011

役場3階・議会事務局前に、ご意見箱「こだま」を設置しています。



▲議場



◀議場内の傍聴席(39席)

建

設水道常任委員会

6月8日に本会議から付託を受けた3議案を慎重に審議し、いずれも可決・認定すべきものとしました。
また、各課報告事項として諸報告を受けました。
その主な内容についてお知らせします。

委員会付託議案

◎議案第35号 平成27年度斑鳩町公共下水道管渠築造工事請負契約の締結について

(その1)

落札者は(株)中谷組、落札率89.7%の1億6437万6000円で落札。

落札日と入札参加業者数について質疑があり、理事者から一定の答弁がされました。
(結果)満場一致で可決すべきものと決しました。

◎議案第36号 平成27年度斑鳩町公共下水道管渠築造工事請負契約の締結について

(その2)

落札者は中村建設(株)、落札率89.8%の9849万6000円で落札。

工事延長による工事金額の設定・入札業者数について質疑があり、理事者から一定の答弁がされました。
(結果)満場一致で可決すべきものと決しました。

◎認定第1号 町道認定について

開発道路4路線と、位置指定道路1路線の計5路線で図面により場所、道路延長の説明がされました。
質疑はありませんでした。
(結果)満場一致で認定すべきものと決しました。

各課報告事項

○公共下水道事業に関することについて

平成27年度の整備予定区域、現在の下水道工事箇所と進捗状況、公共下水道接続申請状況について説明・報告されました。

○都市計画道路の整備促進に関することについて

いかるがパークウェイの三室交差点計画・事業促進・予算確保の要望活動について、説明・報告されました。

パークウェイと法隆寺線の大型規制の関係について、用地買収の件数について質疑があり、理事者より一定の答弁がされました。

○JR法隆寺駅周辺整備事業に関することについて

法隆寺駅南に計画されている2号線の計画と図面について、法隆寺駅北のスーパー撤退の日常の買い物について質疑等があり、理事者より一定の答弁がされました。

○平成26年度斑鳩の里観光案内所及び斑鳩町観光自動車駐

車場指定管理者事業報告について

iセンターの営業状況・利用状況・管理費、斑鳩町観光自動車駐車場の利用状況と管理費について説明・報告されました。

入場者数と利用料の関係と消費税について質疑があり、理事者より一定の答弁がされました。

○斑鳩プレミアム商品券と斑鳩プレミアムリフォーム券について

国からの交付金、プレミアム商品券とリフォーム券の発行数、プレミアム率、購入限度額、発売日、発売所、周知方法などについて説明・報告されました。

生き生きプラザの販売員、去年と今年の販売店舗数、斑鳩町商工会加盟店舗数、不参加の加盟店、個人商店と大型店舗との商品券の使用率について質疑があり、理事者より一定の答弁がされました。

○一般国道25号線斑鳩町歩道設置事業について

竜田大橋前後の歩道設置事業、法隆寺地区町営法隆寺観光駐車場から法隆寺東交差点

の南北の歩道設置事業について説明・報告されました。
法隆寺地区の用地と北側の工事予定について質疑があり、理事者より一定の答弁がされました。

○商工まつりと斑鳩市夏の陣の開催について

質疑はありませんでした。



その他

三代川の道路について、質疑・意見がありました。

また、都市基盤整備事業に関することについて、①都市計画道路の整備促進に関することについて、②JR法隆寺駅周辺整備事業についてを継続審査案件とし、今後、継続して審議していくことが決まりました。

(宮崎委員長記)

6月9日、全委員出席のもと、本会議から付託を受けた2議案とその他報告事項について審査しました。

その主な内容について報告します。

厚生常任委員会

委員会付託議案

○議案第31号 斑鳩町介護保険条例の一部を改正する条例について

○議案第33号 平成27年度斑鳩町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)について

法律の一部改正に伴い、本条例を改正するものであります。

内容は、低所得者の介護保険の保険料負担の軽減を強化することを目的としたもので、補正予算はその財源措置を行うためのものであります。

(結果) 満場一致で可決すべきものと決しました。

各課報告事項

○平成26年度国民健康保険税の不納欠損について

○平成26年度介護保険料の不納欠損について

○平成26年度後期高齢者医療保険料の不納欠損について

滞納者と接触する機会をより多く確保し、生活状況等の

把握に努め、税負担の公平性が損なわれることのないよう適正な滞納処分を行っていくことの報告を受けました。

○平成27年度臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金について

主な改正点は、臨時給付金の支給額が支給対象者1人につき1万円から6千円に変更、子育て世帯臨時特例給付金が支給対象者1人につき1万円から3千円に変更。また、両給付金の支給対象に該当する方は、両方の給付金を受給できることになりました。

なお、両給付金とも、国からの給付金の受け入れが9月下旬と予定されているため、支給については10月以降になることの報告を受けました。

○環境保全及びごみ減量化・資源化の推進に関することについて

①平成26年度の廃棄物・資源物の処理状況

平成26年度の家庭系・事業系を合わせた総排出量は、前年度とほぼ同量の6,400

8.62tであり、資源化率等のデータについても報告がありました。

②衛生処理場焼却棟解体撤去工事の進捗状況

6月から本格的に解体撤去工事に入り、工事の進捗率は全体の約30%であること。

③いかるがの里クリーンキャンペーンについて

「ごみ減量フェア」と合わせて報告を受けました。

○議案第32号 平成27年度斑鳩町一般会計補正予算(第1号)について

厚生常任委員会の所管に関する補正について報告を受けました。

主な内容は、保育園費で、本年度から多子世帯の保育料負担の軽減を図るため、町独自の新たな子育て支援策として、同時在園等の3歳未満児の保育料を従来の2分の1から4分の1へ引き下げを行うものであります。

○保育所の入所状況について

斑鳩町在住児童の保育園入所総数は476名。うち、たつた保育園116名、あわ保

育園214名、黎明保育園79名、町外への広域入所児67名との報告を受けました。

○被災地支援ボランティアについて

斑鳩町社会福祉協議会が実施するもので、今年は7月30日(木)から8月2日(日)の3泊4日を予定、活動内容は菜の花を大槌町の河川敷に咲かせるため除草等整地活動を予定していることの報告がありました。



▲被災地支援ボランティアバス

その他

・住民票の発行手数料について
・安心サポートごみ収集について
などの質疑・意見がありました。

(小林委員長記)



務常任委員会

6月10日全委員出席のもと委員会を開会し、本会議からの付託案件3議案と所管事務の報告事項を慎重に審議、審査しましたので、その主な内容についてを報告します。

なお、付託案件は3議案とも、可決すべきものと決しました。

委員会付託議案

◎議案第30号 斑鳩町スポーツ施設条例の一部を改正する条例について

新たに購入する新体操マットの使用料を1回につき300円とするものです。委員より設定金額の根拠等の質疑がありました。

◎議案第32号 平成27年度斑鳩町一般会計補正予算(第1号)について

歳入歳出それぞれ6323万7千円の増額補正であり、主な歳出としては、臨時福祉給付金および子育て世帯特別

給付金5243万4千円、その他であります。委員より定

住促進にかかるホームページのリニューアル、また自治総合センターコミュニティ助成金等について質疑がなされました。

◎議案第34号 平成27年度史跡中宮寺跡整備工事請負契約の締結について

契約の相手方は株式会社青山組で施工金額は5248万8千円あります。委員より空きスペースの有効活用等についての質疑、要望がなされました。

各課報告事項

◎斑鳩町総合戦略及び人口ビジョン等策定スケジュールについて
人口ビジョンは、9月下旬頃に素案を作成予定。総合戦略については人口ビジョンの内容を踏まえ、11月下旬頃に完成予定。平成28年2月上旬頃までに、それらを勘案、反映させたいと、斑鳩町総合計画後期基本計画の素案を取りまとめることとす。

◎平成26年度町税不納欠損処分及び町税収納状況について

26年度全体の不納欠損処分は実人数で102人、金額は1161万5207円とのこととす。また、収納状況につきましては、現年分滞納分の調定額は30億286万3471円で収納額は28億8636万7113円とのこととす。

◎斑鳩町における歴史的史跡等の発掘調査、整備保存に関することについて

平成26年度の斑鳩町文化財センターの入館者状況について及び今後の展示関係について、また、例年夏休みに行われる小中学生参加の開催行事

についてなどの報告がなされました。なお、この斑鳩町における歴史的史跡等の発掘調査、整備保存に関することにつきましても、継続審査案件としました。

◎夏季一斉閉庁及び閉庁日の町民プールの無料開放について

7月27日、8月17日、8月24日の3日間、役場本庁舎と水道庁舎を閉庁する。また、この3日間は町民プールを無料開放することとす。



◎町有地の売り払いについて

追手団地跡地を一般競争入札により売り払いを進める。また、一般競争入札での売り払いが不調となった阿波2丁目地内町有地と旧野外センター跡地の2物件について

は、先進地の事例を参考に随意契約による売り払いを進めたいとのこととす。

◎来年度4月1日採用の職員採用一次試験を9月20日に実施予定であること。

◎8月12日に子ども模擬議会が開催されること。

◎町民プールが7月1日より8月31日まで開館されること。

◎斑鳩町文化振興センター指定管理者の報告についての報告がなされました。

なお、この各課報告事項につきましても、委員より若干の質疑がなされています。

その他

委員より中央体育館の通路の自動車の通行量が増え、テニス教室を終えて通路に出てくる子どもたちの危険度が高まっているように思われるが、安全対策を考えられないかとの質疑があり、理事者より、関係部局と協議し対応を検討したいとの答弁がなされました。

住民懇談会を開催しました

斑鳩町議会では、議会活動の充実を図り、皆さまのご理解を得るために、町内の各種団体等の皆さまとの懇談会を開催しています。

このたび、斑鳩町シルバー人材センターと厚生常任委員会・建設水道常任委員会が懇談会を行いましたので、その概要をご報告します。

懇談した団体

斑鳩町シルバー人材センター

開催日

平成27年3月26日（木）



▲懇談会のようす

懇談会のテーマ

シルバー人材センターの現状と今後について

シルバー人材センターの基本理念や特徴、現状に対する理解とともに、会員数や契約金額が年々減少するなかで、今後、活動を活性化していくための意見交換を行いました。

主な質疑

シ：シルバー人材センター
議：議員

議：シルバー人材センターの会員数や契約金額の変動について教えてください。

シ：平成15年をピークに減っています。団塊の世代が退職を迎えても会員が増えていません。

議：シルバー人材センターが請け負っている事業の内容について教えてください。

シ：剪定、草刈り、草引きや、障子・襖・網戸の張り替え、観光ガイド、自転車修理、包丁研ぎ、マンションや公園・会館の掃除などを行っています。

シ：斑鳩町への観光客数が減少傾向にあるなかで、今後の観光事業についてどう考えていますか。

議：現在、頭を抱えている問題です。

平成26年度に、町と法隆寺とが協力して初めて避難訓練

をすることができました。今後、お寺との協力関係を更に前進させることも含め、今後の課題として町にも問題提起をしていきます。

シルバー人材センターからのご意見

○シルバー人材センターの維持・活性化に向け、シルバー人材センターの存在や活動内容の周知をしてほしい。

町からシルバー人材センターへの事業発注数増と、町が発注する事業の単価の引き上げを検討してほしい。

○町広報等のポスティング事業を請け負っていますが、仕分け等の作業スペースがないので、スペース確保に向け、ご理解とご協力を求めたい。



（木澤議員記）

議会議員と懇談しませんか？

斑鳩町議会では、斑鳩町内の各種団体との懇談会を実施しています。開催日程、場所、懇談のテーマなど、ご相談に応じさせていただきますので、お気軽にご連絡ください。

申し込み先：議会事務局 TEL 0745-74-1001（内線302）



議会の新しい構成をお知らせします

5月11日に議会役員等の選任を行いました。新しい議会の構成は下記のとおりです。

総務常任委員会

委員長 嶋田 善行
副委員長 坂口 徹
委員 小村 尚己
〃 平川 理恵
〃 木澤 正男
〃 奥村 容子

町の総合計画や行政改革、防災計画、コミュニティ、文化振興財団、財政計画、財産管理、町民税、固定資産税、小・中学校、幼稚園、生涯学習に関する事等についての調査や、議案・請願等の審査をします。

議会運営委員会

委員長 嶋田 善行
副委員長 小林 誠
委員 中川 靖広
〃 小村 尚己
〃 伴 吉晴
〃 木澤 正男
〃 奥村 容子

定例議会の会期、議事日程や議事進行に関する事、請願・陳情の処理に関する事、意見書の提出等議会の対外的問題に関する事等、その他議会運営上必要と認める事項や、他の委員会に属さない事項の審査、調査をします。

議長 中西 和夫
副議長 伴 吉晴
監査委員 中川 靖広



広報発行常任委員会

委員長 坂口 徹
副委員長 嶋田 善行
委員 宮崎 和彦
〃 中川 靖広
〃 伴 吉晴
〃 濱 眞理子

議会広報の編集、発行に関する事務をします。

建設水道常任委員会

委員長 宮崎 和彦
副委員長 木澤 正男
委員 小林 誠
〃 中川 靖広
〃 小村 尚己
〃 井上 卓也

道路、河川、橋梁、町営住宅、観光イベント、町営駐車場、商工業、農業、建築開発に伴う各種規制、屋外広告、公園・緑地、駅前整備、都市計画道路、公共下水道、上水道に関する事等についての調査や、議案・請願等の審査をします。

厚生常任委員会

委員長 小林 誠
副委員長 井上 卓也
委員 伴 吉晴
〃 平川 理恵
〃 濱 眞理子
〃 奥村 容子

保健事業、児童福祉、障がい者福祉、高齢者福祉、介護保険、国民健康保険、ごみ問題、環境対策、住民登録・戸籍に関する事等についての調査や、議案・請願等の審査をします。

編集後記

4月に町議会議員の選挙がありました。5名の新任議員を含む新しい13名の議員の抱負を2.3ページに掲載しています。みなさんの負託にお応えできるよう努力してまいりますので、よろしくお願ひします。

委員会構成もかわり、私たち広報発行常任委員会も、気持ちも新たに、よりわかりやすく、親しみやすい議会だよりをめざしてまいります。

表紙の写真は、町の施設をご紹介しますこととしました。今号は、夏ならではの施設・町民プールです。

ぜひみなさんのご意見・ご感想をお寄せください。

(坂口委員長記)



▲広報発行常任委員会